

輸送動向について（10月分）

平成28年11月

1. 輸送概況

今月は、台風18号接近ならびに仙台・福島地区風規制等の影響により、月全体では高速貨20本が運休となった（前年は高速貨73本、専貨2本が運休）。また台風10号の影響で不通となっている石勝線・根室線については、引き続きトラック・船舶による代行輸送を実施した。

コンテナは、自動車部品が、熊本地震で被災した現地工場の復旧に伴い荷量が回復し好調となったほか、エコ関連物資が北海道内での建設発生土輸送が堅調に推移し前年を上回った。

一方、農産品・青果物が台風10号の被害を受け、北海道地区からの馬鈴薯・野菜類が減送となったことに加えて、東北・新潟地区からの民間流通米輸送が低調に推移したことにより前年を下回った。また、紙・パルプが新聞紙・コート紙の需要の落ち込みにより発送減となったほか、積合せ貨物、化学工業品など前年を下回った。その結果、コンテナ全体では、前年比95.5%となった。

車扱は、石油が初旬から中旬にかけてのガソリンの仕切り価格上昇等により低調な荷動きとなり、車扱全体では前年比98.1%となった。

コンテナ・車扱合計では、前年比96.1%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,966	2,060	95.5%	12,538	12,753	98.3%
車 扱	710	724	98.1%	4,619	4,551	101.5%
合 計	2,676	2,783	96.1%	17,157	17,304	99.2%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	240	263	-23	91.4%
	化学工業品	186	194	-8	96.0%
	化学薬品	128	135	-7	94.7%
	食料工業品	308	311	-3	98.9%
	紙・パルプ	268	293	-25	91.3%
	他工業品	133	144	-11	92.8%
	積合せ貨物	236	244	-8	97.0%
	自動車部品	65	61	4	106.0%
	家電・情報機器	37	40	-3	91.6%
	エコ関連物資	37	36	1	104.1%
	その他	328	339	-11	96.7%
コンテナ計	1,966	2,060	-94	95.5%	
車 扱	石油	450	465	-15	96.8%
	セメント・石灰石	113	131	-18	86.0%
	車 両	83	74	9	112.2%
	その他	64	54	10	119.1%
車 扱 計	710	724	-14	98.1%	
合 計		2,676	2,783	-107	96.1%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)